

5. 第2回三鷹地区検討会

5. 第2回三鷹地区検討会

5-1 第2回三鷹地区検討会の振り返り

(1) 第2回三鷹地区検討会の開催概要

開催状況報告(速報)
中央ジャンクション三鷹地区検討会

速報 中央ジャンクション三鷹地区検討会が終了しました

9月27日(土)、28日(日)に、第2回中央ジャンクション三鷹地区検討会が開催され全4日間のプログラムが終了しました。

日	時	平成20年9月27日(土)	13:00~17:00
		28日(日)	10:00~17:00
場	所	三鷹市立北野小学校	
参加者数	27日 地区検討会	67名(メンバー登録119名)	
	28日 地区検討会	64名(メンバー登録119名)	



(写真1) グループに分かれて話し合いを行いました

第2回三鷹地区検討会は、2日間にわたり三鷹市立北野小学校で行われました。まず、第1回の話し合いの結果について報告された後、主催者などから話し合いの参考となる事例等の紹介が行われ、交通・環境・まちづくりで心配なことへの対策、まちづくりに期待することをテーマとした話し合いがグループに分かれて行われました。話し合いの結果、「ジャンクションの蓋かけ」「代替農地・都市型農業」及び「周辺都市計画道路の整備」等に関するアイデアや、計画検討の進め方に対する意見などが発表されました。地区検討会メンバーの皆様におかれましては、ご多忙の中、ご参加頂きまして誠にありがとうございました。



(写真2) 進士五十八座長より「まちづくりに期待すること」に関し様々な事例など情報提供をしていただきました。



(写真3) 各グループの発表係が発表を行いました



(写真4) 各グループの意見に対し、投票を行いました

中央・三鷹

※東京外かく環状道路調査事務所ホームページにも掲載

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/>

(2) 第2回三鷹地区検討会の結果（総括）

第1回三鷹地区検討会の結果とりまとめと同様に、参加者の皆さんに出して頂いたそのままの意見を客観的に整理し、シール投票結果を定量的に分析して結果のとりまとめを行いました。3つの話し合いテーマについて、それぞれ次の傾向が見られました。

第1回話し合いテーマ「交通、環境などで心配なことへの対策」

- 話し合いの結果から、“まとめた意見”を第1回検討会と同様に「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「工事中」、「用地・補償」、「計画検討の進め方」に大分類を行った。
- 「交通」への関心が最も高く、その中でも「幹線交通」や「地区交通」については、多くのグループから意見が出され、関心が高くなっている。この中で、「東八接続(ループ式、井の頭線、踏切立体等)」という意見に多くの投票があった。
- 「まちづくり」については、「土地利用」に関する関心が高く、「蓋かけ部分に農地、市民農園、産直センター等を作る。」という意見に投票が多かった。
- その他シール投票の傾向で分析した項目以外では、「環境」については、「地下水」に関する意見が多く、「地下水対策に関する専門部署をつくる」という意見に投票が多い。また、「工事中への交通への影響」に関する「中央道に工事用インターを作る。工事車両は地域を通らせない」、「用地・補償等」に関する「事業確定前に代替農地を確保できる法律改正」、「計画検討全般」に関しては「不測の事態があったときは、計画中止の決断をする」などの意見に投票が多かった。
- 交通、環境に関する“残したい意見”として、「自転車道の整備」や「電気自動車の普及」などの意見が出されていた。

第2回話し合いテーマ「まちづくりで心配なことへの対策」

- “まとめた意見”を第1回話し合いの結果から分類した「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「用地・補償」、「計画検討の進め方」の大分類項目に従い整理をした。
- 「まちづくり」の意見としては、「土地利用」に関するものが多く、複数のグループから蓋かけ部分の利活用に関する意見が出されていた。また、「まちづくり全般」や「地域分断」への関心も高く、「都市型農業モデル地区としての象徴的な利用(市民農業直売センター、農家による指導)」や「地域住民の意見を最優先にしたコミュニティ」などの意見に対して投票が多かった。

○シール投票の傾向で分析した項目以外では、「計画検討の進め方」に関して「計画の根本的見直しを(町づくりでなく町こわしだ)」、「三鷹市独自の予測データを出し、市民に周知する」などの意見に投票が多かった。

○まちづくりに関する“残したい意見”として、「まちづくり全般」や「土地利用」などについて、複数のグループから意見が出されていた。

第3回話し合いテーマ

「外かく環状道路中央ジャンクションができることでまちづくりに期待すること」

○“まとめた意見”を「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「用地・補償」、「計画検討の進め方」の大分類項目に従い整理をした。

○「まちづくり」に関する意見として、「土地利用」に関するものが最も多く、「ふた掛け部の有効利用」や「公園化」に関して複数のグループから意見が出されていた。特に、「コミュニティ運営する温泉を作る(三鷹ジャンクセン)」という意見に投票が多かった。

○「まちづくり全般」に関する意見としては、三鷹市らしさの創出を期待する具体的なアイデアが出されていた。

○「計画検討の進め方」の意見として、「計画検討全般」に関しては、「計画を変更・中止する勇気を持つ」という意見に投票が多かった。

○“残したい意見”では、「発案が難しい」としながらも、当該計画地を愛着のもてる場所としたいという意見が出されていた。

※1 詳細は、巻末の「ワークシートデータ」をご参照下さい。

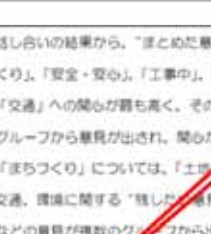
※2 ご意見については、シール投票において20票以上あったものを掲載しています。

5-2 第1回話し合い（9月27日）の結果
テーマ「交通、環境などで心配なことへの対策」
話し合いの結果の見方

(1) シール投票結果

- ・ 下記(3)の中分類得票数の上位3傑を掲載。
※1

例



シール投票の傾向

- 幹線交通に関する意見 98票
- 地区交通に関する意見 71票
- 土地利用に関する意見 67票

(2) “まとめた意見”の傾向と分析

- ・ 集計表の投票結果をもとに出された意見の考察。
- ・ 特に(1)において得票数の多かった“まとめた意見”、特徴的な“残したい意見”についての傾向を分析。

例



話し合いの結果から、“まとめた意見”を第1回検討会から抽出し「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「工事中」、「用地・補償」、「その他検討の基め方」に大分類を行った。

○「交通」への関心が最も高く、その中でも「幹線交通」や「地域交通」については、多くのグループから意見が出され、関心が高くなっている。

○「まちづくり」については、「土地活用」に関する関心が高かった。

○交通、環境に関する“残したい意見”として、「自転車道の整備」や「電気自動車の普及」などの意見が複数のグループから出されていた。

(3) “まとめた意見”の集計結果および一例

- ・ ご意見の例は、最多得票の意見を掲載。※2
- ・ 同数票の場合は意見を複数掲載。※3

例



※1 中分類

※2

※3

(4) 集計表

- ・ 複数の分類項目にまたがる意見や判断が難しい意見については事務局の判断で分類を実施。
- ・ 【 】内はグループ名を示す。
- ・ 得票率は、合計が100%となるように一部端数を処理。

例



(5) 話し合いワークシート

- ・ シール投票は、持ち票を1人につき8票までとして実施。
- ・ シール投票では、各テーマの表型ワークシートの下段の“まとめ”へのみ投票を行った(“残したい意見”への投票は行っていない)。

例



地図型ワークシート

※グループ数は、全部で15ですが、統合して調整を行ったため、グループ5、10が欠番となっています。

(1) シール投票結果

シール投票の傾向

■幹線交通に関する意見	: 98票
■地区交通に関する意見	: 71票
■土地利用に関する意見	: 67票

(2) “まとめた意見”の傾向と分析（再掲）

- 話し合いの結果から、“まとめた意見”を第1回検討会と同様に「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「工事中」、「用地・補償」、「計画検討の進め方」に大分類を行った。
- 「交通」への関心が最も高く、その中でも「幹線交通」や「地区交通」については、多くのグループから意見が出され、関心が高くなっている。この中で、「東八接続(ループ式、井の頭線、踏切立体等)」という意見に多くの投票があった。
- 「まちづくり」については、「土地利用」に関する関心が高く、「蓋かけ部分に農地、市民農園、産直センター等を作る。」という意見に投票が多かった。
- その他シール投票の傾向で分析した項目以外では、「環境」については、「地下水」に関する意見が多く、「地下水対策に関する専門部署をつくる」という意見に投票が多い。また、「工事中への交通への影響」に関する「中央道に工事用インターを作る。工事車輛は地域を通らせない」、「用地・補償等」に関する「事業確定前に代替農地を確保できる法律改正」、「計画検討全般」に関しては「不測の事態があったときは計画中止の決断をする」などの意見に投票が多かった。
- 交通、環境に関する“残したい意見”として、「自転車道の整備」や「電気自動車の普及」などの意見が出されていた。

※1 詳細は、巻末の「ワークシートデータ」をご参照下さい。

※2 ご意見については、シール投票において20票以上あったものを掲載しています。

(3) “まとめた意見” の集計結果および一例

話し合いの結果		得票数		得票率%		ご意見の例
交通	地区交通	71	188	14%	38%	生活道路の確保のために ・ジャンクションのふたがけを実施する ・環状道路 など
	幹線交通	98		20%		東/接続（ループ式、井の頭線 踏切立体化） など
	広域交通	19		4%		中央高速道路高井戸の下り線を必ず整備する
環境	大気質	29	94	6%	19%	換気ではNOxとSPMを最新の設備で除去すること など
	地下水	60		12%		地下水対策に関する専門部署をつくる など
	環境一般	5		1%		インターチェンジ周辺の環境対策 など
まちづくり	まちづくり全般	7	74	1%	15%	三鷹のコミュニティFM局を作って交通情報を提供して欲しい
	土地利用	67		14%		蕎麦が畑に農地、市民農園、産直センター等を作る など
安全・安心	交通安全・治安	8	13	2%	3%	安全確保のための交通誘導、照明を増やす
	災害・事故時の対応	5		1%		利便性の高い有効活用（緊急対策として）
工事中	工事中の交通への影響	36	47	7%	9%	中央道に工事用インターを作る。工事車両はせめて通らせない など
	工事中の環境への影響	7		1%		工事中の地下水の変化を監視 など
	工事中の安全性	4		1%		トンネル（工事）における過去の事故事例を調査・検証する
用地・補償	用地・補償等	30	30	6%	6%	事業確定前に代替農地を確保できる法改正 など
計画・進捗・めざす方	計画・進捗全般	29	51	6%	10%	不測の事態があったときは、計画中止の決断をする
	情報の提供	22		4%		地下水、大気汚染、交通予測など 更なる精緻なデータを示し市民への説明の機会を増やして欲しい など
		総計497		100%		

(4) 集計表

第1回話し合いテーマ

「交通、環境などで心配なことへの対策」（得票総計＝497票）

【 】内はグループ名を表す。

対策や期待することに対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●交通			188	38%
まとめた意見	地区交通		71	14%
	生活道路の確保のために ・ジャンクションのふたがけや実施をする・環状道路 【グループ4】	12		
	蓋掛けの範囲を広くする（生活道路、通学道路） 【グループ12】	11		
	迂回道路通行量増への制御対策として自転車専用レーンの 設置（ゴミ対策、駐停車禁止） 【グループ15】	11		
	人・自転車道の設置（工事中も） 【グループ8】	10		
	生活道路問題 コミュニティバス等による交通ネットワー クの確立 生活道路の整備（工事中を含めて） 【グループ13】	9		
	生活道路の確保（人、車）特に子供（スクールバス？） 【グループ3】	6		
	交通：生活道路分断対策として（側道を作る） 【グループ11】	6		
	通学路、生活道路を工事中、完成後も確保する 【グルー プ14】	5		
	現状に準ずる道路を確保する 【グループ1】	1		
	幹線交通		98	20%
	東八接続（ループ式、井の頭線、踏切立体他） 【グループ8】	22		
	周辺道路の整備を先行して行う 【グループ6】	18		
	東ハインターの混雑解消のために中央道高井戸ランプの下 り入り口の設置 【グループ9】	17		
	東ハインターの車の出入りの制限ができること コントロールセンターを設置する 【グループ14】	10		
	三鷹3・4・11号を吉祥寺通りに接続 【グループ8】	7		
	交通渋滞緩和（アクセス道路の完成、規制の見直し） 【グループ12】	7		
	（三鷹3,4,11）と吉祥寺通りを連結する 【グループ2】	6		
	IC周辺で道路整備・交通規制の徹底 【グループ4】	5		
	計画道路の先行整備（東八等） 【グループ9】	5		
	交通：交通集中対策として整備（横断歩道、信号、自転 車、中央道下をオープンに、有効活用） 【グループ11】	1		
	広域交通		19	4%
	中央高速道路高井戸の下り線を必ず整備する 【グループ14】	19		
残したい意見	自転車道路の整備 【グループ6】			
	側道沿に新交通システムを開発する。【グループ9】			
	高井戸IC下り口を作り、東八への集中を防ぐ 【グループ13】			
	吉祥寺通りを必ずつないで下さい 【グループ14】			

第1回話し合いテーマ

「交通、環境などで心配なことへの対策」（得票総計＝497票）

【 】内はグループ名を表す。

対策や期待することに対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●環境			94	19%
まとめた意見	大気質		29	6%
	換気ではNOxとSPMを最新の設備で除去すること【グループ14】	12		
	排気塔（脱硝設備をつけ、高さを高くする）【グループ12】	5		
	換気所の集じん設備を高機能に【グループ6】	4		
	環境：換気塔の分散（大気測定継続）【グループ11】	3		
	換気能力を最新状態に保つ【グループ4】	2		
	換気所から出る空気をクリアーにしてから出すシステム作り【グループ9】	2		
	最新の技術を導入して大気環境変化を防ぐ【グループ1】	1		
	地下水		60	12%
	地下水対策に関する専門部署をつくる【グループ1】	24		
	環境：水源汚染対策として（水質測定の継続、汚染された場合の水源の確保。）【グループ11】	12		
	三鷹の水道環境、地下水の調査【グループ2】	10		
	現地での地下水への影響への調査【グループ4】	7		
	地下水の確保（外環道を渡る）【グループ12】	4		
	地下水問題（工事前・中・後に関わらず環境の情報開示地下水が枯渇した場合は別の取水地を作る。地下水汚染防止の対策はない）【グループ13】	3		
	地下水対策が思い浮かばないが（？）【グループ8】	0		
	環境一般		5	1%
	インターチェンジ周辺の環境対策【グループ7】	3		
	環境対策適合車のみ通行させる（交通制限）【グループ1】	2		
	環境対策（防音壁を作る、緑地化）【グループ3】	0		
	地下水、CO2、等の対策【グループ7】	0		
残したい意見	シミュレーションルームを作り体験したい（大気汚染）（騒音）（水）（白いTシャツほしてみる）（魚を育ててみる／酒をつくってみる）とか【グループ3】			
	玉川上水の緑を守る方法を考える【グループ6】			
	42項目の全てを守る【グループ7】			
	2ヶ所の換気所は、必要なのか【グループ7】			
	換気塔、避難路をいくつも作る【グループ8】			
	電気自動車を増す（料金体系無料化等）【グループ9】			

第1回話し合いテーマ

「交通、環境などで心配なことへの対策」（得票総計＝497票）

【 】内はグループ名を表す。

対策や期待することに対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●まちづくり			74	15%
まとめた意見	まちづくり全般		7	1%
	三鷹のコミュニティFM局を作って交通情報を提供して欲しい 【グループ2】	7		
	土地利用		67	14%
	蓋かけ部分に農地、市民農園、産直センター等を作る 【グループ14】	21		
	道路部分の全面、蓋掛け 【グループ7】	13		
	土地利用の制限は地元住民と十分に検討する 【グループ2】	9		
	ふたかけの部分を東八道路まで 【グループ2】	6		
	可能な限りフタカケを行い、上部を有効利用 【グループ6】	5		
	東八IC付近の特別用途規制の実施 【グループ12】	5		
	有効活用（児童広場、保育園等作る） 【グループ3】	4		
	フタ掛け部は緑地が主体 【グループ8】	4		
残したい意見	三日月地域を公園にして、中央道を渡るトンネルをつける 【グループ12】			
	掘削した土は中央道を使って排出して下さい 【グループ14】			
	安全のため交番やスクールエンジェルをふやすこと 【グループ14】			
●安全・安心			13	3%
まとめた意見	安全・治安		8	2%
	安全確保のための交番追加、照明を増やす 【グループ3】	8		
	災害・事故時の対応		5	1%
	利便性の高い有効活用（緊急時対策として） 【グループ15】	5		
	避難道路の確保、非常アナウンスの確保 【グループ3】	0		
●工事中			47	9%
まとめた意見	工事中の交通への影響		36	7%
	中央道に工事用インターを作る。工事車両は地域を通らせない 【グループ13】	22		
	工事中の交通対策 ・工事車両を中央道から入れる ・生活道路と農道の仮設確保 【グループ6】	7		
	工事中の生活道路確保のため現在の住民の移動動線の調査を実施 【グループ9】	6		
	工事中の諸問題（渋滞、騒音など） 【グループ7】	1		
	工事中の環境への影響		7	1%
	工事中の地下水の変化を監視 【グループ6】	6		
	工事の地域への影響を小さくする為、工期・工事区間を分割する 【グループ13】	1		
	工事中の安全性		4	1%
	トンネル（工事）における過去の事故事例を調査・検証する 【グループ1】	4		
残したい意見	工事中の子どもの交通、大気汚染に十分配慮する 【グループ2】			
	夜間工事をさける 【グループ12】			

第1回話し合いテーマ

「交通、環境などで心配なことへの対策」（得票総計＝497票）

【 】内はグループ名を表す。

対策や期待することに対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●用地・補償			30	6%
まとめた意見	用地・補償等		30	6%
	事業確定前に代替農地を確保できる法律改正 【グループ9】	25		
	農地の保全 【グループ7】	5		
●計画検討の進め方			51	10%
まとめた意見	計画検討全般		29	6%
	不測の事態があったときは、計画中止の決断をする 【グループ4】	29		
	情報の提供		22	4%
	地下水、大気汚染、交通予測など 更に精緻なデータを示し市民への説明の機会を増やして欲しい【グループ15】	19		
	市民の情報提供の求めに应运えてもらう 【グループ13】	3		
残したい意見	心配なことがなくなる限り事業化しない 【グループ1】			
	ふたがけの可能な位置を明確にしてほしい 【グループ3】			
	将来予想の不確実性 【グループ7】			
	行政区を超え（世田谷・調布）連携を 【グループ8】			
	作るなら最後までつくれ！（財源問題などで途中でストップするな）【グループ13】			

話し合いの結果の見方

例

シール投棄の構造

- 幹線交通に関する意見
- 地区交通に関する意見
- 土地利用に関する意見

98集
71集
67集

例

- 話し合いの結果から、「まとめた意見」を第14回検討会に持ち込、「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「工事中」、「用地・補償」、「行政体制の進め方」に大分類を行った。
- 「交通」への関心が最も高く、その中でも「鉄道交通」や「地域交通」については、多くのグループから意見が出され、関心が高まっている。
- 「まちづくり」については、「土地・町」に関する関心が高かった。
- 交通、環境に関する「懸念した意見」として、「自転車道の整備」や「電気自動車の普及」などの意見が複数のグループから出されていた。

例

※1	中分類
----	-----

※2

25.2

例



地図型ワークシート

52

(1) シール投票結果

シール投票の傾向

■土地利用に関する意見	： 110票
■まちづくり全般に関する意見	： 62票
■地域分断に関する意見	： 60票

(2) “まとめた意見” の傾向と分析（再掲）

- “まとめた意見” を第1回話し合いの結果から分類した「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「用地・補償」、「計画検討の進め方」の大分類項目に従い整理をした。
- 「まちづくり」の意見としては、「土地利用」に関するものが多く、複数のグループから蓋かけ部分の利活用に関する意見が出されていた。また、「まちづくり全般」や「地域分断」への関心も高く、「都市型農業モデル地区としての象徴的な利用(市民農業直売センター、農家による指導)」や「地域住民の意見を最優先にしたコミュニティ」などの意見に対して投票が多くなっている。
- シール投票の傾向で分析した項目以外では、「計画検討の進め方」に関して「計画の根本的見直しを(町づくりでなく町こわした)」、「三鷹市独自の予測データを出し、市民に周知する」などの意見に投票が多かった。
- まちづくりに関する“残したい意見”として、「まちづくり全般」や「土地利用」などについて、複数のグループから意見が出されていた。

※1 詳細は、巻末の「ワークシートデータ」をご参照下さい。

※2 ご意見については、シール投票において20票以上あったものを掲載しています。

(3) “まとめた意見”の集計結果および一例

話し合いの結果		得票数票		得票率%		ご意見の例
交通	地区交通	30	57	6%	11%	生活道路（歩行者・農業者用）の整備（フタ掛け部・（エスカレーター・エレベーター設置）） など
	幹線交通	27		5%		基幹道路（計画道路）の先行整備 など
環境	大気質	8	42	2%	9%	換気塔の力を強化する
	地下水	6		1%		地下水を確保するための工法
	景観	14		3%		換気塔周辺の利用（森にしてかくす）→北の富士 など
	環境一般	14		3%		環境対策 環境監視機構を作り、観測ポイントを増し、継続的に監視
まちづくり	まちづくり全般	62	232	13%	48%	都市型農業モデル地区として象徴的な利用（市民農園直売センター、農家による指導） など
	地域分断	60		12%		中央ジャンクション中心部に地区公会堂をつくりその回りをループ道で結ぶ など
	土地利用	110		23%		東八丁の交差点エリア計画拡大・緑化 など
安全・安心	交通安全・治安	21	21	4%	4%	治安対策 市全体に交番の増設市役所に対策窓口を設置（工事前、中、後） など
用地・補償	用地・補償等	43	43	9%	9%	農地の代替地を事業決定前に決める（ふたがけの上を農地として使用） など
計画検討の進め方	計画検討全般	57	96	11%	19%	計画の根本的見直しを（町づくりでなく町こわした） など
	情報の提供	13		3%		計画及び事業段階での情報提供の徹底（ネガティブ情報）
	予測結果	26		5%		三鷹市独自の予測データを出し、市民に周知する
		総計491		100%		

(4) 集計表

第2回話し合いテーマ

「まちづくりで心配なことへの対策」（得票総計＝491票）

【 】内はグループ名を表す。

対策や期待することに対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●交通			57	11%
まとめた意見	地区交通		30	6%
	生活道路（歩行者・農業者用）の整備（フタ掛け部・（エスカレーター・エレベーター設置））【グループ8】	9		
	コミュニティバス的大幅増設【グループ11】	7		
	生活道路を優先させる【グループ4】	4		
	外環道の蓋掛け部分に歩行者・自転車専用道路を造る【グループ9】	4		
	周辺生活道路の整備（安全な舗歩道を）【グループ7】	3		
	北野中央通りを移設して、バス路線を確保する【グループ9】	3		
	分断地域を結ぶ各専用道路の確保【グループ6】	0		
	幹線交通		27	5%
	基幹道路（計画道路）の先行整備【グループ8】	15		
残したい意見	東八道路の出入口の混雑防止のため出入口スペースを広くする【グループ4】	10		
	東ハインターを立体化に【グループ7】	2		
	中央道の地下化【グループ2】			
	インターチェンジ不要【グループ3】			
残したい意見	吉祥寺通りと三3.4.11と接続する道路を環境施設帯に設ける【グループ12】			
●環境			42	9%
まとめた意見	大気質		8	2%
	換気塔の力を強化する【グループ4】	8		
	地下水		6	1%
	地下水を確保するための工法【グループ6】	6		
	景観		14	3%
	換気塔周辺の利用（森にしておく）→北の富士【グループ1】	8		
	附属道路の整備には電線地下化等の環境対策をする【グループ14】	6		
	換気所の数、デザイン、性能etc.再点検【グループ3】	0		
	環境一般		14	3%
	環境対策 環境監視機構を作り、観測ポイントを増し、継続的に監視【グループ14】	14		
残したい意見	防音壁の改良（走行車にとって圧迫感のないように）【グループ1】			
	農地の確保【グループ2】			

第2回話し合いテーマ

「まちづくりで心配なことへの対策」（得票総計＝491票）

【 】内はグループ名を表す。

対策や期待することに対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●まちづくり			232	48%
まとめた意見	まちづくり全般		62	13%
	都市型農業モデル地区として象徴的な利用（市民農園・直売センター、農家による指導）【グループ6】	23		
	地域住民の意見を最優先にしたコミュニティ【グループ13】	20		
	環境対策等を100%守り外環を含めた町作りに協力する【グループ1】	11		
	地域文化（伝統行事等）の継承（ミコシ）【グループ8】	8		
	新たなコミュニティと創出（と学校等、コミュニティ施設）【グループ6】	0		
	地域分断		60	12%
	中央ジャンクション中心部に地区公会堂をつくりその回りをループ道で結ぶ【グループ9】	13		
	行政区画を再検討（学区割通学路の確保）【グループ2】	10		
	行政区域の見直し（学校区の組替えを含む）【グループ12】	10		
	中央道も地下化して地域分断を防ぐ【グループ3】	9		
	小・中学校の学区の変更を可能にする【グループ11】	7		
	地域分断対策 分断地区の行政区部の再編成 蓋かけ部分を増して分断を防止【グループ14】	7		
	三日月地区の行政区画を検討する【グループ4】	4		
	土地利用		110	23%
	東八との交差点エリア計画拡大・緑化【グループ11】	15		
	北野地域を第一種低層地帯として守りやがては北野ヒルズにする【グループ1】	11		
	できるかぎり蓋かけ部分を多くし、緑地、道路等にする【グループ2】	9		
	ふたかけ部の有効利用（スポーツ広場、市民・学校農園など）【グループ12】	8		
	東八道沿線地域を特別用途地域に指定【グループ12】	8		
	市民のいこいの場としての施設の建設【グループ2】	7		
	三日月地区の全面公園化【グループ2】	7		
	フタ掛け部の農地利用【グループ8】	7		
	ふたかけ部分有効活用（（例）イメージ的には丸池公園）【グループ13】	7		
	農地、地下水の保全（フタかけ部分の農地化）【グループ3】	6		
	蓋掛け部分を市民農園、公園等に利用する【グループ4】	6		
	蓋掛け部分を事業部分全体に【グループ7】	5		
	ふたかけ部分の活用（公民館、高齢者用住宅、防犯カメラの設置）【グループ11】	4		
	JCT蓋掛け部分及び周辺を雑木林等（三鷹らしい）にする【グループ9】	3		
	東八・インター周辺を風紀保全地域に指定する【グループ9】	3		
	三日月地帯を市が買収し緑地帯にする【グループ1】	2		
	交通が便利になることにより増加する 商業施設を規制【グループ14】	2		
残したい意見	三日月地域の行政区域を見直す【グループ3】			
	蓋掛け部分に道路計画公務員住宅を【グループ7】			
	八幡神社のフタ掛け部の移設【グループ8】			
	三日月地帯の分断の解決として仙川に蓋掛けして、上に植物を植え、一部に橋をかける【グループ9】			
	近隣区、市との対策会議の設置（学校、交通等）【グループ11】			
	JCT橋脚部の下に駐輪・駐車場を設ける【グループ12】			
	仙川横断部に親水公園をつくる【グループ12】			
	コミュニティの分断問題が解決されなければ事業化をやめる【グループ13】			

第2回話し合いテーマ

「まちづくりで心配なことへの対策」（得票総計＝491票）

【 】内はグループ名を表す。

対策や期待することに対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●安全・安心			21	4%
まとめた意見	交通安全・治安		21	4%
	治安対策 市全体に交番の増設 市役所に対策窓口を設置（工事前、中、後）【グループ11】	7		
	防災・治安対策（照明・交番ふやす）【グループ13】	6		
	生活道確保、安全な道路を作る【グループ2】	4		
	生活道路、通学路をふたがけ部に設けたとき照明を【グループ12】	4		
残したい意見	活断層が環状道路にかかってないか【グループ4】			
●用地・補償			43	9%
まとめた意見	用地・補償等		43	9%
	農地の代替地を事業決定前に決める（ふたがけの上を農地として使用）【グループ1】	13		
	代替農地の確保（三鷹・調布市・三日月地域全部など）【グループ12】	11		
	代替農地の先行取得（早期に）【グループ8】	10		
	農地の不用な売却を防ぐ為に税制特例【グループ13】	9		
残したい意見	代替農地を確保する為の法改正【グループ6】			
●計画検討の進め方			96	19%
まとめた意見	計画検討全般		57	11%
	計画の根本的見直しを（町づくりでなく町こわしだ）【グループ7】	42		
	環境対策・地域分断対策（交通対策）が不十分な場合は建設をストップ【グループ14】	15		
	情報の提供		13	3%
	計画及び事業段階での情報提供の徹底（ネガティブ情報）【グループ7】	11		
	徹底に情報開示とモニタリングの実施【グループ6】	2		
	予測結果		26	5%
残したい意見	三鷹市独自の予測データを出し、市民に周知する【グループ3】	26		
	JCT近隣の住民に関係者から説明会を開き、理解を深める（もっとアイデアが出る）【グループ9】			

5-4 第3回話し合い（9月28日）の結果

テーマ「外かく環状道路中央ジャンクションができることでまちづくりに期待すること」

話し合いの結果の見方

(1) シール投票結果

- ・ 下記(3)の中分類得票数の上位3傑を掲載。
※1

例

シール投票の傾向

- 幹線交通に関する意見
- 地区交通に関する意見
- 土地利用に関する意見

98票
71票
67票

(2) “まとめた意見”の傾向と分析

- ・ 集計表の投票結果をもとに出された意見の考察。
- ・ 特に(1)において得票数の多かった“まとめた意見”、特徴的な“残したい意見”についての傾向を分析。

例

○話し合いの結果から、“まとめた意見”を第1回検討会から第3回に「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「工事中」、「用地・補償」、「その他検討の進め方」に大分類を行った。

○「交通」への関心が最も高く、その中でも「幹線交通」や「地区交通」については、多くのグループから意見が出され、関心が高まっている。

○「まちづくり」については、「土地利用」に関する関心が高かった。

○交通、環境に関する“残したい意見”として、「自転車道の整備」や「電気自動車の普及」などの意見が複数のグループから出されていた。

(3) “まとめた意見”の集計結果および一例

- ・ ご意見の例は、最多得票の意見を掲載。※2
- ・ 同数票の場合は意見を複数掲載。※3

例

※1 中分類

中分類	得票数	意見
幹線交通	98	幹線道路の拡幅・新設（国道1号、国道16号）
地区交通	71	地区道路の拡幅・新設（市道、町道）
土地利用	67	商業・住宅地の混合利用
その他	...	...

※2 ご意見の例

意見	得票数
幹線道路の拡幅・新設	98
地区道路の拡幅・新設	71
土地利用の混合利用	67

例

意見	得票数
幹線道路の拡幅・新設	98
地区道路の拡幅・新設	71
土地利用の混合利用	67

(4) 集計表

- ・ 複数の分類項目にまたがる意見や判断が難しい意見については事務局の判断で分類を実施。
- ・ 【 】内はグループ名を示す。
- ・ 得票率は、合計が100%となるように一部端数を処理。

(5) 話し合いワークシート

- ・ シール投票は、持ち票を1人につき8票までとして実施。
- ・ シール投票では、各テーマの表型ワークシートの下段の“まとめ”へのみ投票を行った（“残したい意見”への投票は行っていない）。

例



地図型ワークシート

※グループ数は、全部で15ですが、統合して調整を行ったため、グループ5、10、15が欠番となっています。

(1) シール投票結果

シール投票の傾向

■土地利用に関する意見	： 158票
■まちづくり全般に関する意見	： 135票
■計画検討全般に関する意見	： 76票

(2) “まとめた意見”の傾向と分析（再掲）

- “まとめた意見”を「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「用地・補償」、「計画検討の進め方」の大分類項目に従い整理をした。
- 「まちづくり」に関する意見として、「土地利用」に関するものが最も多く、「ふた掛け部の有効利用」や「公園化」に関して複数のグループから意見が出されていた。特に、「コミュニティ運営する温泉を作る(三鷹ジャンクセン)」という意見に投票が多かった。
- 「まちづくり全般」に関する意見としては、三鷹市らしさの創出を期待する具体的なアイデアが出されていた。
- 「計画検討の進め方」の意見として、「計画検討全般」に関しては、「計画を変更・中止する勇気を持つ」という意見に投票が多かった。
- “残したい意見”では、「発案が難しい」としながらも、当該計画地を愛着のもてる場所としたいという意見が出されていた。

※1 詳細は、巻末の「ワークシートデータ」をご参照下さい。

※2 ご意見については、シール投票において20票以上あったものを掲載しています。

(3) “まとめた意見”の集計結果および一例

話し合いの結果		得票数(票)		得票率(%)		ご意見の例
交通	地区交通	31	43	6%	8%	コミュニティバスの増設(巡回回数を多く 料金を安く) など
	幹線交通	12		2%		東八道路、幹線道路の整備(歩道・自転車道・交差点改良工事) など
環境	大気質	0	13	0%	2%	排気ガスの完全無害化をすること
	景観	6		1%		換気所を緑豊かなモニュメントにする(外部から人が訪れるような)
	環境一般	7		1%		地下水・大気の保全設備は最新・最善のものを(水質・大気質は現状維持) など
まちづくり	まちづくり全般	135	302	27%	61%	都市型農業の発信の地(アモーレ) など
	地域分断	9		2%		分断対策としてジャンクション上の小学校・公会堂
	土地利用	158		32%		コミュニティ運営する温泉を作る(三鷹ジャンクセン) など
安全・安心	交通安全・治安	8	8	2%	2%	道路整備により安心出来る道路環境 など
用地・補償・補	用地補償等	33	34	6%	7%	影響を受ける住民の声をきき、買収範囲の拡大 など
	生活基盤への影響	1		1%		高速代による税金他への還元
計画検討の進め方	計画検討全般	76	99	15%	20%	計画を変更・中止する勇気を持つ など
	意見反映	21		4%		計画の進め方として、継続的で実質的な市民参加のしくみを作る
	情報の提供	2		1%		地域メディアを積極的に活用し、情報の共有
		総計499		100%		

(4) 集計表

第3回話し合いテーマ

「外かく環状道路中央ジャンクションができることでまちづくりに期待すること」(得票総計=499票)
 【 】内はグループ名を表す。

対策や期待することに対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●交通			43	8%
まとめた意見	地区交通		31	6%
	コミュニティバスの増設（巡回回数を多く 料金を安く）【グループ9】	12		
	住民の「いい」の場・遊歩道・自転車専用道他【グループ6】	8		
	〇市内のどこからも来る事が出来る交通手段【グループ14】	7		
	ハ.質の高い周辺道路を作り、JCT内の施設と融合させる（サイクリング・ジョギング・電柱の地下化・緑化）【グループ14】	4		
	幹線交通		12	2%
	東八道路、幹線道路の整備（歩道・自転車道・交差点改良工事）【グループ7】	7		
	東八の出口の整備【グループ8】	5		
残したい意見	既存の中央道を地下に入れる【グループ13】			
●環境			13	2%
まとめた意見	大気質		0	0%
	排気ガスの完全無害化をすること【グループ9】	0		
	景観		6	1%
	換気所を緑豊かなモニュメントにする（外部から人が訪れるような）【グループ12】	6		
	環境一般		7	1%
	地下水・大気の保全設備は最新・最善のものを（水質・大気質は現状維持）【グループ7】	4		
	公害をなくす【グループ4】	3		
残したい意見	出土した文化財の保全・展示のための施設【グループ7】			

第3回話し合いテーマ

「外かく環状道路中央ジャンクションができることでまちづくりに期待すること」(得票総計=499票)

【 】内はグループ名を表す。

対策や期待することに対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●まちづくり			302	61%
まとめた意見	まちづくり全般		135	27%
	都市型農業の発信の地（アモーレ）【グループ11】	19		
	フタかけ部分を確保し、北野地区のシンボリックな場所に（コミュニティ施設等）【グループ1】	18		
	三鷹市の新しい観光資源として（北野）【グループ6】	17		
	三鷹の市民が行ってみたいわくわくする場に作る【グループ11】	16		
	市民の集いの場を創造する【グループ14】	14		
	水と緑の公園都市の玄関としてふさわしい場所に【グループ3】	13		
	北野の町のコミュニティシンボルとしてこの計画を実行【グループ8】	11		
	地場産業（野菜の直売）、住民生活の向上、活性化【グループ3】	10		
	この機会に地域住民（市民）主体のまちづくりを期待する【グループ1】	7		
	公共施設を作り、コミュニティを活性化【グループ2】	4		
	ふたかけ部分を北野地域の中心的存在にする（コミュニティ八幡神社、新しい農業モデル等）【グループ13】	4		
	フロアハウス地域の早期、都市ガス化【グループ9】	1		
	インターチェンジ付近の車量増加の有効利用【グループ13】	1		
	新しいコミュニティづくり【グループ3】	0		
	地域分断		9	2%
	分断対策としてジャンクション上の小学校・公会堂【グループ6】	9		
	土地利用		158	32%
	コミュニティ運営する温泉を作る（三鷹ジャンクセン）【グループ12】	23		
	ふたかけの面積を大きくし有効利用する（庚申堂、八幡神社、公会堂、交番、鎮守の森、多世代施設）【グループ8】	18		
	農業発展の為に道の駅【グループ6】	14		
	JCTを全面的に蓋かけし緑地化する【グループ12】	13		
	外環の地下にSAを作り、地上は公園に【グループ2】	11		
	市民が無料で利用できる公営施設を作る（プール、スポーツ等）【グループ9】	11		
	市のモデル農地にして市民の学習の場とする【グループ1】	10		
	魅力的な公園作り【グループ2】	8		
	緑地を農地、里山、市民農園などに利用【グループ12】	8		
	フタかけ部分の有効利用（滝の公園・馬場・文化・スポーツ広場など・市民農園・学校農園）【グループ7】	7		
	中央道にも蓋掛けする【グループ2】	6		
	地元の農産物などを販売できる施設を作る【グループ9】	6		
	地域の歴史・伝統芸能・文化財を生かす中核施設の確保【グループ11】	6		
	緑地部に資料館併設の公会堂を作る【グループ12】	6		
	法整備により地域住民に必要な施設以外は禁止する【グループ1】	4		
	イ、（農業公園・スポーツ施設・イベント会場・ドックラン等）【グループ14】	4		
	ふたかけを多くし、利用できる面積をできるだけ多くとることが前提【グループ13】	3		
残したい意見	仙川に親水公園をつくる【グループ7】			
	市民参加の「まちづくり」のスケールではないため、発案が極めて難しい（三鷹市だけでなく、国と都の意向が入ってるから）【グループ9】			
	（補足）②を仮称“北野の里”とする【グループ13】			

第3回話し合いテーマ

「外かく環状道路中央ジャンクションができることでまちづくりに期待すること」(得票総計=499票)

【 】内はグループ名を表す。

対策や期待することに対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●安全・安心			8	2%
まとめた意見	交通安全・治安		8	2%
	道路整備により安心出来る道路環境【グループ8】	6		
	生活道路を整備し、住民の安全が期待できる(コミュニティゾーンの確保等)【グループ1】	2		
●工事中				
残したい意見	工事期間中にもイベントが開催される場所の貸出しを願います(地域のまつり花火)【グループ11】			
●用地・補償			34	7%
まとめた意見	用地補償等		33	6%
	影響を受ける住民の声をきき、買収範囲の拡大【グループ3】	12		
	農地の確保(二度ともどらない悲しみ)【グループ4】	9		
	農地の特例措置【グループ3】	6		
	農地の先行取得出来るように法の改正に期待する【グループ11】	6		
	生活基盤への影響		1	1%
	高速代による税金他への還元【グループ7】	1		
残したい意見	三日月地区を代替農地にあてる【グループ7】			
●計画検討の進め方			99	20%
まとめた意見	計画検討全般		76	15%
	計画を変更・中止する勇気を持つ【グループ4】	51		
	行政のたて割りの解消する都・市・財務省・国交省【グループ11】	18		
	計画道路の再検討の上での実施【グループ13】	5		
	ギセイを払う人への思いが集まる【グループ4】	2		
	意見反映		21	4%
	計画の進め方として、継続的で実質的な市民参加のしくみを作る【グループ7】	15		
	市民の意見を必ず反映【グループ4】	6		
	情報の提供		2	1%
	地域メディアを積極的に活用し、情報の共有【グループ2】	2		
残したい意見	次世代の声をきく【グループ3】			
	国交省を信頼できるように！改革する【グループ4】			
	計画の進行にともなう変更等の情報開示【グループ8】			
	ワークショップ開催を【グループ8】			